ハンドマイク街頭演説原稿例　暮らしに希望を、三つのプラン

二〇一九年六月九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、安倍首相はいまだに、今年十月から消費税率を十％に引き上げようとしています。日本経済が悪化しているかもしれないと政府が認めている今、消費税率を引き上げたら、それこそ日本経済がとんでもないことになってしまうのではないでしょうか。

　十％への増税は、今からでも止められます。「今年十月からの消費税十％は中止を」の声を、ごいっしょにあげましょう。

　みなさん、日本共産党は、「暮らしに希望を――三つのプラン」を提案しています。

　第一は、八時間働けばふつうに暮らせる社会にすることです。最低賃金を時給で千五百円に引き上げるとともに、中小企業への賃上げ支援を今の一千倍に引き上げます。残業代ゼロ制度を廃止し、残業の上限を月四十五時間にします。そして正規雇用が当たり前のルールを作り、ずっとハケン・非正規のまま働かされるような制度をやめさせます。誰もが経済的にも時間的にもゆとりを持ち、安心して消費できるようになってこそ、本当の景気の好循環が生まれるのではないでしょうか。

　第二は、お金の心配なく学び、子育てできる社会にすることです。大学や専門学校の授業料をまず半額に引き下げ、段階的に無料にしていきます。七十万人に月三万円、返済のいらない奨学金制度を作るとともに、返済する奨学金の利子をなくします。認可保育園を三十万人分増やし、安すぎる保育士の給料を月五万円引き上げます。

　第三は、くらしを支える安心の社会保障にすることです。サラリーマンの協会けんぽなどと比べて高すぎる国民健康保険税を大幅に引き下げます。減らない年金を実現するとともに、年金の少ない人に年六万円の上乗せをします。子どもの医療費無料化を国の制度にし、どこに住んでいても同じく無料にします。

　みなさん。「三つのプラン」すべてを実施するために必要な財源は七・五兆円です。とても大きな金額ですが、消費税を引き上げなくても実現できます。大企業に中小企業並みの税率を負担してもらうことで四兆円、大株主の税金の優遇をただして最高税率を引き上げることで三・一兆円、本来負担する義務のないアメリカ軍への「思いやり予算」を止めることなどで〇・四兆円。これで「三つのプラン」実現のための財源を確保できます。

　みなさん。日本共産党は「三つのプラン」実現へ、全力でがんばります。七月の参議院選挙では日本共産党を大きく伸ばしてください。埼玉では伊藤岳参院予定候補へのご支援をお願いいたしまして、この場所をお借りしての政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）